

秋田県立秋田南高等学校

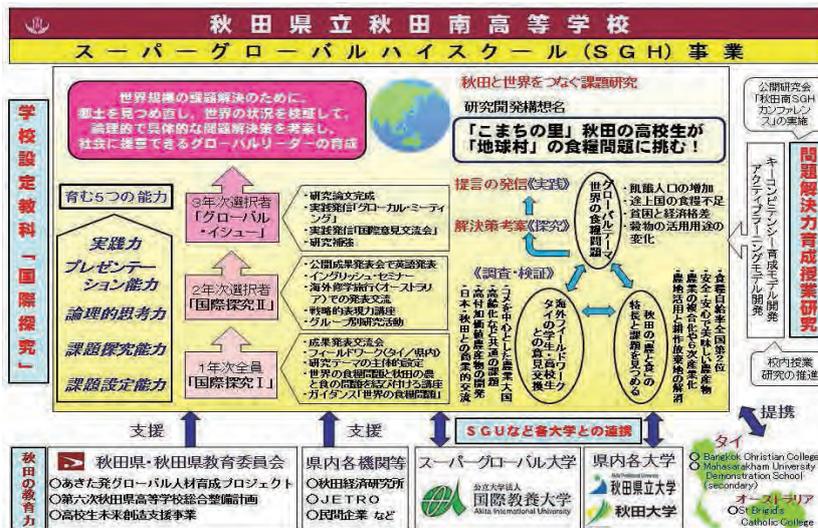
「こまちの里」秋田の高校生が「地球村」の食糧問題に挑む！

【構想の概要】

本校は、平成28年度より中高一貫教育校として新しく生まれ変わり、その基本理念として「郷土や国家を支える高い志と国際的な視野を備えたグローバルリーダーの育成」を掲げている。この基本理念は、SGH事業の趣旨とも合致しているところである。

本校が育成を目指す「グローバルリーダー」とは、グローバルな視点から世界と郷土を見つめ直し、それらの課題を論理的に考察し、解決策を考えるとともに、社会に向けて発信や提言をしていくことができる人間である。具体的には「課題設定能力」、「課題探究能力」、「論理的思考力」、「プレゼンテーション能力」、「実践力」の5つの能力と捉えている。

こうした資質・能力を磨き、身に付けていくため、本校のSGH事業では、国内外の大学・高校や研究機関・企業等と連携しながら、問題解決力を育成するための授業研究・カリキュラム開発と、生徒の探究的な学習である課題研究を行っている。特に課題研究では、学校設定教科「国際探究」を設定し、郷土や日本の課題と、世界規模の問題を結び付けるグローバルなテーマとして、秋田の地域特性を生かしながら、「世界の食糧問題の解決」を掲げている。



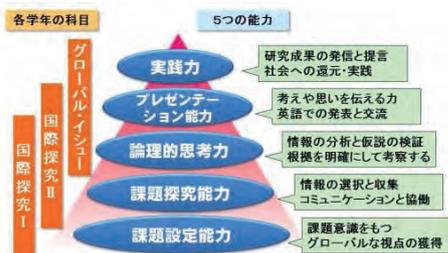
平成30年度入学生 教育課程表

	普通科理系																	普通科文系															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
1年	共通SGHあり	国語総合	現社	数学Ⅰ	数Ⅱ	数Ⅲ	数Ⅳ	化学基礎	生物基礎	体育	保健	芸術Ⅰ	家庭基礎	社会と情報	英語表現Ⅰ	英語Ⅰ	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ	英語Ⅵ	英語Ⅶ	英語Ⅷ										
2年	共通SGHあり	現代文	古典	歴史Ⅰ	歴史Ⅱ	歴史Ⅲ	歴史Ⅳ	数学Ⅱ	数学Ⅲ	数学Ⅳ	物理基礎	化学	物理	生物	体育	保健	英語表現Ⅱ	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ	英語Ⅵ	英語Ⅶ	英語Ⅷ									
3年	共通SGHあり	現代文	古典	歴史Ⅰ	歴史Ⅱ	歴史Ⅲ	歴史Ⅳ	数学Ⅲ	探究数学	化学	物理	生物	体育	保健	英語表現Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ	英語Ⅵ	英語Ⅶ	英語Ⅷ												
1年	共通SGHあり	国語総合	現社	数学Ⅰ	数Ⅱ	数Ⅲ	数Ⅳ	化学基礎	生物基礎	体育	保健	芸術Ⅰ	家庭基礎	社会と情報	英語表現Ⅰ	英語Ⅰ	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ	英語Ⅵ	英語Ⅶ	英語Ⅷ										
2年	共通SGHあり	現代文	古典	歴史Ⅰ	歴史Ⅱ	歴史Ⅲ	歴史Ⅳ	数学Ⅱ	数学Ⅲ	数学Ⅳ	物理基礎	化学	物理	生物	体育	保健	英語表現Ⅱ	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ	英語Ⅵ	英語Ⅶ	英語Ⅷ									
3年	共通SGHあり	現代文	古典	歴史Ⅰ	歴史Ⅱ	歴史Ⅲ	歴史Ⅳ	数学Ⅲ	探究数学	化学	物理	生物	体育	保健	英語表現Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ	英語Ⅵ	英語Ⅶ	英語Ⅷ												

※「G.I.」は「グローバル・イシュー」(学校設定科目)の略。

課題研究：学校設定教科「国際探究」

- 学校設定教科として実施し、グローバルリーダーに必要な5つの能力を育成する。



- 高1「国際探究Ⅰ」は、全員が履修。「課題設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現」という探究のプロセスを一通り経験する。講座やフィールドワークを通して世界や地域の課題を発見し、その要因・背景を分析して解決策を考察する。論理的な思考を重視した探究と発表の機会を全員に設定。
- 高2「国際探究Ⅱ」は選択科目。グループは再編。秋田県立大学の教員との連携指導で専門性を深める。英語プレゼン発表では、どう表現すれば自分たちの考えが伝わるかを熟考し、表現力を磨く。
- 高3「グローバル・イシュー」は2年次からの研究を継続（前期のみ）。研究成果の発信と実践、社会貢献を目指す。市役所やJA、企業経営者など社会人への発信と意見交換を通して実践力を育む。

学年	学校設定科目	対象	校内指導者	外部指導者	フィールドワーク	発表等
3年	グローバル・イシュー 3クラス コミュ英語Ⅱを履修	選択	学年部教員 6名 ・SGHクラス担任1 ・SGHクラス副担任1 ・他クラス副担任3 ・学年主任1	大学(研究協力) 国際教養大、秋田県立大 市・企業等(意見交換) 秋田市役所、JA、JICA、 各企業	自主的F.W	意見交換(6~6月) 研究論文(9月)
2年	国際探究Ⅱ 2クラス コミュ英語Ⅱ・総学を履修	選択	学年部教員 9名 ・SGHクラス担任2 ・SGHクラス副担任2 ・他クラス副担任4 ・学年主任1	大学(研究協力) 秋田県立大(通年本校指導) 国際教養大 企業・研究機関(プレゼン指導F.W)	研習F.W、 海外修学旅行(インドネシア) 5/28日	英語プレゼン発表(10月) 研究論文(2月)
1年	国際探究Ⅰ 全6クラス 現社・総学を履修	全員	学年部教員 13名 ・各クラス担任6 ・各クラス副担任6 ・学年主任1	大学(講座・連携) 国際教養大、秋田大、秋田県立大 企業・研究機関(講座・講演、プレゼン指導F.W) 秋田経済学研究、JICA、各企業	県内F.W、 海外F.W(タイ) 5/28日	レポート(8月) プレゼン発表(英語/日本語)、 海外発表(2月)

- 指導体制は、学年部職員を中心に配置し、多様な教科の教員が関わる形とする。
- 時間割は3学年とも同じコマに設定し、配置教員数を確保するとともに、異学年交流（上級生による支援や下級生への成果普及等）もしやすい形に。
- 研究グループは、個人の研究したいテーマに基づいて編成する。原則4～5名（最大6名）。
- 各種講座やFWはSGU国際教養大学・秋田県立大学等、多数の大学や公的機関、民間企業と連携。
- タイ海外FWの事前・事後指導については、連携

校（BCC、DMSU）とのSkype交流や、訪問先である国連WF Pの日本協会による講座等を実施。

- 学校設定教科のため、評定評価を行う。毎時間の振り返り記述を、評価規準を基に3段階で評価。



教科・科目でのSGHの取組

- 秋田大学教職大学院と連携した教員研修。
- 高大接続改革に向けた、思考力・判断力・表現力を育成する指導の研究。
- 協働的な活動の場や表現活動を取り入れた、探究的・SGH的な授業を各教科で日常的に実践。
- ICT活用(単焦点プロジェクター15台、Classi)
- 公開授業研究会の実施(平成30年度は10/26開催)

成果と課題

成果

○ 生徒の変容

- 主体性や行動力、表現力、コミュニケーション力、英語力の向上。
- 海外大学や難関大AO等、SGHの成果を活かした進学が増加。
- 外部大会の実績（SGH甲子園、Global Link Singapore等）

○ 教員の意識変容と授業改善の推進

- 多くの教員が成果を実感し、取組の全体化が進んでいる。
- 課題研究や探究的学習の指導力が年々向上している。

○ 外部機関との連携

- 年々連携機関が増加し、学校の財産となっている。
- 生徒が社会とのつながりを意識し、外に出て行くように。
- 卒業生による協力体制を整備。

課題

△ 課題研究の質的向上

- 表現力に加えて論理性や新規性を高める指導方法の改善。
- 情報検索や情報分析等、探究スキルの指導の充実。

△ 課題研究カリキュラムの持続可能なモデル化

- 予算措置が終了したとしても継続できる事業の工夫。
- ポートフォリオ評価を含めた評価方法の研究推進。
- 職員の多忙化解消につなげる工夫。

△ SGHの一層の全体化

- SGHの成果を、対象外生徒へさらに浸透させる工夫。
- 探究的学習を取り入れた授業研究のさらなる推進。